

# J-mail

## News Letter by J-center

北海道大学大学院 法学研究科 附属高等法政教育研究センター【J-center】



初夏の北大 クラーク像とライラック



No.44

## CONTENTS

Project Report  
2015 年度 開催行事一覧  
Research Archives  
2015 年度 法学研究科教員の著作等

From Jcenter  
センター長ご挨拶 (センター長 尾崎一郎)

2016 Summer

# ProjectReport 2015年4月～2016年3月

## 4月

4月18日(土)

法理論研究会定例研究会「戦時期における日本法哲学思想の一つの謎  
—回想の尾高朝雄・常盤敏太・E.Wolf あるいは不寛容への挑戦—」

時間：14時～ 場所：北海道大学 人文・社会科学総合教育研究棟 W409 室  
●報告Ⅰ：「戦時期における日本法哲学思想の一つの謎— 回想の尾高朝雄・常盤敏太・E.Wolf あるいは不寛容への挑戦—」 鈴木敬夫（札幌学院大学・名誉教授）  
●報告Ⅱ：「中国の制裁システムにおける治安管理处罰制度の位相 —刑事制度との関係・比較から—」 坂口一成（大阪大学・准教授） ●主催：北海道大学法理論研究会、北海道大学法学研究科附属高等法政教育研究センター ●共催：「体制転換と法」研究会



2015.04.18

## 5月

5月16日(土)

法理論研究会定例研究会「Interactive Reason in Law」

時間：14時～ 場所：北海道大学法学部センター会議室（315室）  
●報告：長谷川晃氏（北海道大学法学研究科） ●主催：北海道大学法理論研究会、北海道大学法学研究科附属高等法政教育研究センター



2015.05.16

## 6月

6月29日(月)

法理論研究会特別例会  
「補償問題の類型学」 “Righting Past Wrongs : Modes of Reparation”

時間：15時～ 場所：北海道大学法学部センター会議室（315室）  
●報告：John Torpey 教授（CUNY）（ニューヨーク市立大学社会学部大学院）  
●共催：北海道大学民法理論研究会、北海道大学法理論研究会、北海道大学法学研究科附属高等法政教育研究センター \*北大トップコラボ事業の一環として開催



2015.06.29

## 7月

7月3日(金)

高等研センター、附属図書館共同ワークショップ  
「世界のルールの作り方・使い方」

第1回食の安全と国際経済—成長ホルモン・遺伝子組み換え食品の輸出入をめぐる攻防  
時間：14時45分～16時45分 場所：北海道大学附属図書館本館オープンエリア  
第一部 講演 ◆1）[基礎編]「世界のルールの作り方・使い方—国際法ガバナンスの基礎」（法学研究科 教授 児矢野マリ氏） ◆2）[応用編]「食の安全と国際経済—成長ホルモン・遺伝子組み換え食品の輸出入をめぐる攻防」（公共政策学連携研究部 准教授 伊藤一頼氏） 第二部 資料・情報の検索セミナー（附属図書館調査支援担当） ●主催：北海道大学大学院法学研究科附属高等法政教育研究センター、北海道大学附属図書館



2015.07.03

7月4日(土)

法理論研究会定例研究会「リスク・緊急事態・悪法論」

時間：14時～ 場所：北海道大学法学部センター会議室（315室）  
●報告：中山竜一氏（大阪大学） ●主催：北海道大学法理論研究会、北海道大学法学研究科附属高等法政教育研究センター



2015.07.04

7月17日(金)

公法研・国際法研・高等研センター共催企画  
「国際人権法と国内法—国際法学と憲法学・行政法学との対話」

時間：14時30分～18時 場所：北海道大学人文・社会科学総合教育研究棟 W202 室  
●研究報告：「国際人権基準調和的な人権保障のあり方 —差別禁止法と国内人権機関を題材に」 申 惠丰教授（青山学院大） ●憲法学からのコメント：齊藤正彰教授（北星学園大） ●国際法学からのコメント：斎藤民徒教授（金城学院大） ●主催：北海道大学公法研究会、北海道大学国際法研究会、北海道大学法学研究科附属高等法政教育研究センター



2015.07.17

7月24日(金)

法理論研究会特別例会「『北朝鮮帰国事業』と訪朝記：  
パレシア〈命を危険に曝しても真理を語る勇氣〉をめぐる」

時間：16時30分～19時 場所：北海道大学人文・社会科学総合教育研究棟 W202 室  
●報告：アドリアン・カルボネ氏（ルーヴァン大学人文学部 准教授） ●共催：北海道大学政治研究会、北海道大学法理論研究会、北海道大学法学研究科附属高等法政教育研究センター



2015.07.24





7月25日(土)

## 講演会「〈開かれた社会〉の規範論」

時間：15時～ 場所：明治大学駿河台キャンパス リバティータワー11階1115教室

- 講師：小坂井敏晶氏（パリ第8大学）
- 主催：明治大学 法と言語科学研究所、北海道大学大学院 法学研究科附属高等法政教育研究センター



7月25日(土)

## ワークショップ「体制転換と法」研究会

時間：14時～ 場所：北海道大学 法学部 321号室

- 報告Ⅰ：中国における人民参審員制度改革 ——その挑戦と展望）徐昕（北京理工大学法学院・教授）
- 報告Ⅱ：戸主制をめぐる韓国の家族法）岡 克彦（福岡女子大学・教授）
- 共催：「体制転換と法」研究会、北海道大学法学研究科附属高等法政教育研究センター



8月

7月23日(木)～8月20日(木)

## 平成27年度公開講座「表現の自由と秩序」

時間：18時30分～20時30分 場所：北海道大学 人文・社会科学総合教育研究棟W203

7月23日(木)

第1回 『「シャルリ・エブド」』と表現の自由を考える

——移民、風刺、宗教

- 講師：吉田 徹（北海道大学法学研究科・公共政策大学院准教授）

7月30日(木)

第2回 「大学の歴史から見た学問の自由」

- 講師：田口正樹（北海道大学法学研究科教授）

8月6日(木)

第3回 「表現の自由と民法」

- 講師：池田清治（北海道大学法学研究科教授）

8月20日(木)

第4回 「ヘイト・スピーチと表現の自由」

- 講師：尾崎一郎（北海道大学法学研究科附属高等法政教育研究センター長・教授）



本講座は一般市民を対象に毎年夏に行っているもので、昭和58年度の初開催以来の恒例行事となっています。今年度も当初予定定員50名を上回る65名の受講者を得ての開催となりました。

全4回の講座では、近年深刻さの度合いを増している「表現の自由」をめぐる様々な問題について、比較政治、西洋法制史、民法学、法社会学のそれぞれの観点から講義が行われました。

講義では、インターネット等のメディア革新により変容していく社会と、そこに生まれる新たな対立、「自由」という概念への根本的な問いなど、現在世界中で発生している「表現の自由」にまつわる諸問題についての経緯や背景、今後の課題について語られ、受講者からも活発な意見が寄せられました。

最終講義の終了後には閉講式が行われ、尾崎一郎高等法政教育研究センター長から所定の回数（3回以上）を受講した56名に修了証書が授与されました。

本講座は長年にわたって参加されている熱心な受講者が多く、毎年60代以上の方を中心に安定した支持をいただいておりますが、今年度は、パンフレット配布範囲の拡大、Eメールによる申込受付などを行い、新たな受講者層の開拓も試みました。結果、例年に比べ20～30代の新規受講者の割合が増加するなどの成果が見られました。今後も、広報・受付体制の充実を図るとともに、市民の関心を喚起し、思考の一助となるような魅力的なテーマを提供し、さらに多くの方に参加してもらえるよう努めていく方針です。



# 9月

9月28日(月)

## 法理論研究会特別例会「私たちのものが欲しい (We Want What's Ours)」 「補償と修復的正義 (Reparations and Restorative Justice: Repairing the Broken Pieces)」

時間：14時～17時30分 場所：北海道大学法学部センター会議室(315室)

●報告Ⅰ：「私たちのものが欲しい (We Want What's Ours): 尊厳取用とその回復 (Dignity Taking and Dignity Restoration) —南アフリカの土地回復請求の事例から」 B. アツアヘネ教授 (シカゴ・セント・ローズスクール) ●報告Ⅱ：「補償と修復的正義 (Reparations and Restorative Justice: Repairing the Broken Pieces)」 C. ウォーターハウス教授 (インディアナ大学ロースクール)

●共催：北海道大学法学会、北海道大学民法理論研究会、北海道大学法理論研究会、北海道大学法学研究科附属高等法政教育研究センター \*北大トップコラボ事業の一環として開催



B. アツアヘネ教授



C. ウォーターハウス教授

2015.09.28

# 10月

10月3日(土)

## ワークショップ「体制転換と法」研究会

時間：14時～ 場所：北海道大学 法学部 321号室

●報告Ⅰ：「クロアチアとその周辺および韓国における法文化雑感」伊藤知義(中央大学・教授) ●報告Ⅱ：中国における弁護士業務証書の年度更新制度 蘇航(北大大学院・博士後期課程) ●共催：「体制転換と法」研究会、北海道大学法学研究科附属高等法政教育研究センター



2015.10.03

10月16日(金)

## 法理論研究会特別例会「正義を通じての社会的癒し： 歴史的な不正義の傷の癒しについての米国の協働的責任」

時間：15時～ 場所：北海道大学人文・社会科学総合教育研究棟(W棟)W409室

●報告Ⅰ：E. ヤマモト教授(ハワイ大学ロースクール、フレッド・コレマツ「法と社会正義」特別教授) ●共催：北海道大学法学会、北海道大学民法理論研究会、北海道大学法理論研究会、北海道大学法学研究科附属高等法政教育研究センター \*北大トップコラボ事業の一環として開催



2015.10.16

10月31日(土)

## JILA 高等研センター セミナー

### 「企業内弁護士と振り返る『最近の企業法務トピックス』」

時間：13時～15時 会場：北海道大学自分・社会科学総合教育研究棟(W棟)W309室

●講演：平泉真理氏(弁護士・ベリンガーインゲルハイムジャパン株式会社法務部長)、上田大輔氏(弁護士・関西テレビ放送株式会社編成局知財推進部主任) ●主催：北海道大学法科大学院、北海道大学法学研究科附属高等法政教育研究センター ●共催：北海学園大学法務研究科、北海道大学経済法研究会、北海道大学刑法研究会



2015.10.31

# 11月

11月2日(月)

## 法理論研究会特別例会

### 「日本の非営利部門の強化を志向する日米比較—家族問題に焦点を置いて」

時間：15時～ 場所：人文・社会科学総合教育研究棟(W棟)W203室

●報告：ムツサミ・クマラン(Muthusami Kumaran)氏(フロリダ大学・家族・若者・コミュニティ学部教授) ●共催：北海道大学民法理論研究会、北海道大学法理論研究会、北海道大学法学研究科附属高等法政教育研究センター



2015.11.02

11月22日(日)

## 「一般公開フォーラム：同性パートナーシップ制度導入を考える」

時間：13時30分～16時30分 場所：学術交流会館講堂 対象：一般、専門家、学生、行政担当者、等。

●開会式辞：新田孝彦(本学理事) ●閉会式辞：白木沢旭児(文学研究科長) ●パネリスト：須田布美子(札幌弁護士会所属弁護士)、鈴木賢(明治大学教授・北海道大学名誉教授)、田中かず子(国際基督教大学名誉教授・同ジェンダー研究センター初代センター長) ●コメンテータ：石井吉春(北海道大学公共政策大学院教授・同院長) ●司会・進行役：瀬名波栄潤(北海道大学大学院文学研究科教授・同応用倫理研究センター員) ●主催：文学研究科応用倫理研究センター ●共催：法学研究科附属高等法政教育研究センター、公共政策大学院 ●後援：国際本部サステナビリティ・ウィーク 2015



2015.11.22





2015.11.24

11月24日(火)

### 法理論研究会特別例会「ヨーロッパ及びアメリカ合衆国の難民・庇護の法政策の近時の展開——補償、市民権（公民権）及び正義の領域との関係で」

時間：15時～ 場所：北海道大学法学部センター会議室（315室）

●報告：D. エイブラハム教授（マイアミ大学ロースクール〈現在ベルリン・社会科学研究所センター〉） ●共催：北海道大学法学会、北海道大学民法理論研究会、北海道大学法理論研究会、北海道大学法学研究科附属高等法政教育研究センター  
\*北大トップコラボ事業の一環として開催

12月5日(土)

### シンポジウム「司法の市民参加と多文化主義：ベルギーの経験から」

時間：14時～ 場所：北海道大学人文・社会科学総合教育研究棟（W棟）W409

●講演Ⅰ：「ベルギーとフランスにおける司法の市民参加と多文化主義の近代的起源：日本では受け止められたか」Dimitri Vanoverbeke氏（ルーヴァン カトリック大学・教授） ●講演Ⅱ：「衝突と和解のはざままで——近年のベルギー政治をいかに読むか」松尾秀哉氏（北海学園大学・教授）



Dimitri Vanoverbeke氏



松尾秀哉氏

2015.12.05

●主催：日本学術振興会科学研究費基盤（B）「法廷における異文化衝突の言語分析—法文化の変容と法批判をめぐって—」（代表者：尾崎一郎）、北海道大学大学院法学研究科附属高等法政教育研究センター

12月17日(木)

### 公開講演会「法学教育とジェンダー」

時間：14時30分～ 場所：北海道大学文系共同講義棟5番教室

●講演：角田由紀子氏（弁護士・第二東京弁護士会） ●コメント：秀嶋ゆかり氏（弁護士・札幌弁護士会） ●主催：北海道大学大学院法学研究科附属高等法政教育研究センター



当日は、質疑も活発に行われた。  
壇上左から角田由紀子氏、秀嶋ゆかり氏

2015.12.19

12月19日(土)

### 法理論研究会定例研究会「中国人民法院の現状と課題」

時間：13時30分～ 場所：北海道大学人文・社会科学総合教育研究棟（W棟）W409

●報告Ⅰ：「地方政府と裁判所の関係について：人事と財政予算のコントロールを中心に」左衛門氏（四川大学・教授） ●報告Ⅱ：「中国における裁判官定員制の改革」李学堯氏（上海財經大学・教授） ●報告Ⅲ：「公正な裁判における意見（opinion）の位置づけ」陸而啓氏（厦門大学法学院・准教授） ●主催：北海道大学法理論研究会、北海道大学法学研究科附属高等法政教育研究センター ●共催：「体制転換と法」研究会、日本学術振興会科学研究費基盤（B）「法廷における異文化衝突の言語分析—法文化の変容と法批判をめぐって—」（代表者：尾崎一郎）



2015.12.24

12月24日(木)

### 特別講演会「家庭裁判所調査官の仕事について」

時間：14時45分～16時15分 場所：北海道大学人文・社会科学総合教育研究棟（W棟）W101

●講演：葛西由布子氏（札幌家庭裁判所調査官） ●主催：北海道大学大学院法学研究科附属高等法政教育研究センター

# 1月

2016年1月28日(木)

## FDサロン「大学対抗交渉コンペティションへの北海道大学の参加の取り組みについて」

時間：14時45分～15時45分 場所：北海道大学人文・社会科学総合教育研究棟（W棟）W409

- 報告：會澤恒（北海道大学法学研究科教授）、堀内詩織（北海道大学法学部4年）
- 主催：北海道大学大学院法学研究科附属高等法政教育研究センター



2016.01.28

1月30日(土)

## 法理論研究会定例研究会「公私二元論からみたドイツジェンダー法政策」

時間：14時～ 場所：北海道大学法学部センター会議室（315室）

- 報告：若林翼氏（ブレイメン大学研究員） ●主催：北海道大学法理論研究会、北海道大学法学研究科附属高等法政教育研究センター



2016.01.30

# 2月

2月1日(月)

## リタ・ハーヴァーカンプ教授講演会 日独共同セミナー 「ドイツ連邦共和国における女子処遇と母子施設」

時間：10時～12時 場所：北大 東京オフィス

- 講演：リタ・ハーヴァーカンプ（ドイツ・チュービンゲン大学教授） ●通訳：小名木明宏 ●主催：科研費A「犯罪者を親にもつ子どもへの支援に関する総合的研究」（代表者：矢野恵美） ●共催：北海道大学法学研究科附属高等法政教育研究センター



2016.02.04

2月4日(木)

## リタ・ハーヴァーカンプ教授講演会 刑事法研究会特別例会 「ドイツ連邦共和国における保安処分の現状」

時間：10時～12時 場所：北海道大学法学部403室

- 講演：リタ・ハーヴァーカンプ（ドイツ・チュービンゲン大学教授） ●通訳：小名木明宏 ●主催：北海道大学刑事法研究会 ●共催：科研費C「複合的視点からの保安処分制度の再構築についての研究」（代表者：小名木明宏）、北海道大学法学研究科附属高等法政教育研究センター



2016.02.06

2月6日(土)

## 法理論研究会定例研究会

### 「21世紀の社会国家」(Thomas Piketty)とJohn Rawlsの「正義」論 ——「Max Weberのリベラリズムの現代的意義」研究の観点から——

時間：14時～ 場所：北海道大学法学部321室

- 報告：今井弘道氏（浙江大学光華法学院特聘教授、北海道大学名誉教授） ●主催：北海道大学法理論研究会、北海道大学法学研究科附属高等法政教育研究センター



2016.02.20

2月20日(土)

## 法理論研究会定例研究会「法道具主義再考」

時間：15時～ 場所：北海道大学法学部センター会議室（315室）

- 報告：椎名智彦氏（青森中央学院大学） ●主催：北海道大学法理論研究会、北海道大学法学研究科附属高等法政教育研究センター



2016.03.09

# 3月

3月9日(水)

## 法理論研究会定例研究会「意味の所有権 一法的推論と〈法と文学〉」

時間：14時～ 場所：北海道大学法学部センター会議室（315室）

- 報告：林田清明氏（北海道大学法学研究科） ●主催：北海道大学法理論研究会、北海道大学法学研究科附属高等法政教育研究センター



2016.03.23

3月23日(水)

## 法理論研究会定例研究会「社会的世界はいかに把握されるか？ —エスノメソロジーの失われた原問題をめぐって」

時間：14時～ 場所：北海道大学法学部センター会議室（315室）

- 報告：櫻村志郎氏（神戸大学） ●主催：北海道大学法理論研究会、北海道大学法学研究科附属高等法政教育研究センター



## 2015年度 法学研究科教員の著作等

## 法の理論 33 特集《日本国憲法のゆくえ》

竹下賢/長谷川晃/酒匂一郎/河見誠(編)(2015年4月1日、成文堂)

## 社会保障法 第6版(有斐閣アルマ)

加藤智章/菊池馨実/倉田聡/前田雅子(2015年4月11日、有斐閣)

## はばたき—21世紀の知的財産法:中山信弘先生古稀記念論文集

小泉直樹/田村善之(編)(2015年6月9日、弘文堂)

## 現代知的財産法 実務と課題 飯村敏明先生退官記念

鈴木将文/田村善之/大寄麻代/荒井章光/沖中康人ほか(著)、設楽隆一/清水節/高林龍/大淵哲也/三村量一/片山英二/松本司(編)(2015年7月6日、発明推進協会)

## 注釈ウィーン売買条約最終草案

UNCITRAL事務局(著)/吉川吉樹(訳)/曾野裕夫(補訳)(2015年7月25日、商事法務)

## 行政手続と行政救済(現代行政法講座2)

現代行政法講座編集委員会(岡田正則/榎原秀訓/白藤博行/人見剛/本多滝夫/山下竜一)(編)(2015年7月25日、日本評論社)



## 東アジア民法学と災害・居住・民族補償(前編)(学術選書139)

吉田邦彦(2015年8月5日、信山社) ①

## 野党とは何か:組織改革と政権交代の比較政治(MINERVA人文・社会科学叢書)

吉田徹(2015年8月10日、ミネルヴァ書房) ②



## 技術・環境・エネルギーの連動リスク(シリーズ日本の安全保障第7巻)

鈴木一人(編)(2015年8月29日、岩波書店) ③

## 遅きリベラリストとその批判者たち—井上達夫の法哲学

瀧川裕英/大屋雄裕/谷口功一(編)、安藤馨/松本充郎/米村幸太郎/大江洋/浦山聖子/藤岡大助/吉永圭/池田弘乃/稲田恭明/郭舜/奥田純一郎/吉良貴之/平井光貴/横濱竜也/宍戸常寿/森悠一郎(2015年8月31日、ナカニシヤ出版)

## 「経済大国」日本の外交-エネルギー資源外交の形成1967-1974年(叢書「21世紀の国際環境と日本」)

白鳥潤一郎(2015年9月3日、千倉書房) ④



## 憲法演習ノート

宍戸常寿(編)、大河内美紀/齊藤愛/柴田憲司/西村裕一/松本哲治/村山健太郎/横大道聡(著)(2015年9月15日、弘文堂)

## リーディングス刑法

伊東研祐/松宮孝明(編)、三上正隆/仲道祐樹/謝煜偉/内田浩/松尾誠記/山本高子/玄守道/山本紘之/嘉門優/橋爪隆/葛原力三/森永真綱/佐藤陽子/澁谷洋平/鈴木一永/照沼亮介/小島秀夫/豊田兼彦/佐川友佳子/曲田統/小野晃正/安達光治/野澤充/内田幸隆/裏美蘭/上嶋一高/品田智史/松澤伸(2015年10月1日、法律文化社)

## LawPractice 行政法(LawPractice シリーズ)

互理格/大貫裕之(編)、田村達久/稲葉一将/日野辰哉/北見宏介/高橋信行/小川一茂/北島周作/福永実/米田雅宏(2015年10月3日、商事法務)

## 【医事法講座第6巻】臓器移植と医事法

甲斐克則(編)、旗手俊彦/秋葉悦子/城下裕二/岩志和一郎/丸山英二/佐藤雄一郎/神馬幸一/磯部哲/中山茂樹/栗屋剛/朝居朋子/絵野沢(2015年10月16日、信山社)

## 刑法実践演習

甲斐克則(編)、内山良雄/小田直樹/小名木明宏/神例康博/北川佳世子/島岡まな/杉本一敏/十河太朗/二本柳誠/日山恵美/渡邊卓(2015年10月19日、法律文化社)



## グローバル・コモンズ(シリーズ日本の安全保障第8巻)

遠藤乾(2015年10月29日、岩波書店) ⑤

## 《法と文学》の法理論(北海道大学大学院法学研究科研究選書)

林田清明(2015年12月16日、北海道大学出版会) ⑥



## 明日の地方創生を考える

一般財団法人土地総合研究所(編)、生田長人/井堀利宏/姥浦道生/大西隆/小幡績/玄田有史/篠崎彰彦/中川雅之/中村良平/保母武彦/堀江康/宮脇淳/山崎福寿/山下一仁/吉田克己/大越利之/白川慧一/渡辺直行(2015年12月18日、東洋経済新報社)



## 「リベラル保守」宣言(新潮文庫)

中島岳志(2015年12月23日、新潮社) ⑦

## ドイツ連邦主義の崩壊と再建—ヴァイマル共和国から戦後ドイツへ

権左武志(2015年12月26日、岩波書店) ⑧



## 社会保険検論

加藤智章(2016年1月26日、旬報社) ⑨



## 吉野作造政治史講義—矢内原忠雄・赤松克麿・岡義武ノート

吉野作造講義録研究会(五百旗頭薫/今津敏晃/古賀光生/国分航士/作内由子/玉置敦彦/中野弘喜/伏見岳人/前田亮介)(編)(2016年1月27日、岩波書店)

## 愛国と信仰の構造 全体主義はよみがえるのか(集英社新書)

中島岳志/島蘭進(2016年2月17日、集英社)

## ワークルール検定中級テキスト[第2版]

道幸哲也/加藤智章/開本英幸/浅野高宏/國武英生/一般社団法人日本ワークルール検定協会(2016年2月26日、旬報社)

## ワークルール検定問題集2016年版

道幸哲也/加藤智章/開本英幸/浅野高宏/國武英生/平賀律男/上田絵理/一般社団法人日本ワークルール検定協会(2016年2月26日、旬報社)

## 法の理論 34

竹下賢/長谷川晃/酒匂一郎/河見誠(編)(2016年3月3日、成文堂)

## 電子証拠の理論と実務—収集・保全・立証

町村泰貴/白井幸夫(編)(2016年3月25日、民事法研究会)

※ 2016年4月末時点で、WEB上で検索・確認できた情報をもとに掲載しています(日付は発売日)。

## センター長 ご挨拶

J-mail の第 44 号をお届けします。昨年度のセンターの活動記録を中心に編集しました。

2015 年 4 月にセンター長になって以来、歴代のセンター長と比較して圧倒的に乏しい人脈と資金力をアイデアと図々しきで補うべく知恵を絞って参りましたが、なんとかそれなりの実績をあげることができたのではないかと安堵しています。これもひとえにセンター所属教員を始めとする北海道大学大学院法学研究科の教員諸氏、さらには、センター客員研究員および協力研究員の皆様の御協力があったことで、この場を借りて深く御礼申し上げたいと存じます。

この一年間、北海道大学法学研究科と社会とのインターフェースとしての高等法政教育研究センターの役割を特に意識して企画を続けてきました。また、分野を問わず総合大学としての北大で日々教育研究に励んでいる多様な人々との連携についても留意しました。その結果生まれたオリジナル企画の 1 つが、北海道大学附属図書館との協働ワークショップ「世界のルールの作り方・使い方」でした。教員と図書館の調査・学習支援担当職員の周到な準備のおかげで大学内外から多数の参加者を集めることができ、会心の企画となり

ました。今後も継続予定です。また、「表現の自由」をテーマにした公開講座も世界が直面するアクチュアルな問題にまっすぐに取り組む法学研究科らしい企画として、聴講者の好評を得ました。さらに、FD サロンと称する、教員相互の教育に関わる相互研鑽の場を作る試みも始めました。日々の業務に追われてややもすると視野狭窄に陥りがちな大学教員が深呼吸して視野を再びクリアにする場にできたらと考えています。

現在大学を取り巻く環境は悪化の一途をたどっています。とりわけ、財政の逼迫と教育・研究手法のグローバル化（すなわち基準の均一化と加熱する競争）は、落ち着いて教育と研究に専念する精神的余裕を大学教員から奪い取っています。そのような中で、北海道という地域に根ざしながら世界知としての法学・政治学に携わるのが北海道大学法学研究科が大学内外の人々と繋がり合う回路として、本センターの活動をさらに活性化して行きたいと考えています。皆様の御理解と御協力をお願いする次第です。

センター長 尾崎 一郎

## センター所属教員 (2016 年 6 月現在)

センター長 尾崎一郎

ガバナンス部門

常本照樹 (部門責任者)

尾崎一郎

法動態部門

會澤 恒 (部門責任者)

水野浩二

中川晶比呂

李 妍淑

グローバル化部門

児矢野マリ (部門責任者)

山崎幹根

### 表紙の写真

#### クラーク像とライラック (北 9 条西 7 丁目)

もはや「北海道観光のアイコン」といった感もあるクラーク像。有名な「丘の上のクラーク」(羊ヶ丘展望台)は全身像ですが、ここ北大構内には 6 体の胸像があると言われています。中でも最も親しまれているのが、中央ローン北西角にあるこの胸像。春の桜、初夏のライラックをはじめ四季折々の表情を見せるキャンパスの一角に慎ましやかに佇み、日々大勢の人を迎えています。現在設置されている像は二代目。初代の像は 1926 年制作、太平洋戦争時の金属回収令により供出。終戦直後の 1948 年に再建されました。



### 【編集後記】

昨夏発行の前号に続き、今号も 2015 年度を駆け足で振り返る内容となりました。共催、写真撮影等でお世話になったみなさま、誠にありがとうございました。2016 年度も多々お世話になるかと存じますが、何卒よろしく願いいたします！(小林)

## J-mail 第 44 号

- 発行：2016 年 6 月 1 日 ●発行人：北海道大学 大学院 法学研究科 附属高等法政教育研究センター
- 〒060-0809 札幌市北区北 9 条西 7 丁目 ●Phone/Fax：011-706-4005 ●E-mail：jcenter@juris.hokudai.ac.jp
- HP：http://www.juris.hokudai.ac.jp/ad/